

カリセン通信



令和元年8月20日
京都市総合教育センター

お役に立ちます新学期準備

2学期準備のお手伝い

★★電子メールでの申込による図書等の貸出について★★

夏休みを過ごした子どもたちで、学校が賑やかになると同時に、先生方には忙しい日々が戻ってきます。子どもたちの成長に目を配りながら授業の準備に日々奮闘されていることでしょう。

カリセンには豊富な学習資料が揃っています。学校を離れにくい先生方に向けて、電子メールでの申込による図書・DVDの貸出も実施しています。一度カリセンへ来て、図書貸出利用者カードを作るだけで、次回から簡単に図書やDVDを借りることができます。関心をひかれた本等がありましたら、気軽にご利用ください。

- ①カリセンで図書貸出利用者カードの作成。
 - ②総合教材ポータルサイトで蔵書検索システムを開く。
→目的の図書の検索。
 - ③図書貸出申込書に記入し、電子メールで送付。
 - ④カリセンから文書メールで図書が届く。
 - ⑤2週間以内にカリセンへ返却。(文書メールでの返却可)
- ※詳しくは別紙を参照してください。



ポータルサイト初期画面

教育研究団体のサイトの改善について

総合教材ポータルサイトの研究会ホームページを改善しました。改善後は、画面が横に広がったことで、スクロールする量が少なくなり、より見やすくなりました。



学校の枠を超えた仲間の横のつながりは心強いものです。研究会活動はその中心的な役割を果たしていますので、積極的に研究会活動にも参加し、仲間と一緒に指導力を高めましょう。

確かな学力を育てる 指導案の活用と収集のご協力について

既使用指導案は新たな授業づくりのための貴重な教材です。カリセンでは、指導案を集約しており、現在、京都市の先生の授業の指導案を1万点以上集約・保存し、常時数千点をポータルサイトで閲覧可能にしています。これは先輩方の足跡であると同時に、現在教壇に立つ先生にとって心強い味方となっています。学習指導要領も大きく変わる中、校内授業研等で作り上げた最新の指導案はより有効な資料となります。是非カリセンの指導案活用と収集にご協力ください。

既使用指導案は新たな授業づくりのための貴重な教材です。カリセンでは、指導案を集約しており、現在、京都市の先生の授業の指導案を1万点以上集約・保存し、常時数千点をポータルサイトで閲覧可能にしています。これは先輩方の足跡であると同時に、現在教壇に立つ先生にとって心強い味方となっています。学習指導要領も大きく変わる中、校内授業研等で作り上げた最新の指導案はより有効な資料となります。是非カリセンの指導案活用と収集にご協力ください。

終了間際！お急ぎください！（8月31日まで）
「企画展 京都を学ぶ」

実践例 岩倉北小学校 京都市における「歩くまち・京都」学習

京都市では、平成22年1月23日に「歩くまち・京都」憲章が制定されて久しいです。本憲章は、市民による市民のための憲章であります。京都市の小学校・中学校・総合支援学校では、各校において、本憲章を児童・生徒に理解させるとともに市民としての実践的態度を養うことが求められています。

今回の企画展では、研究指定校のひとつである岩倉北小学校の授業実践モデルプランを提示しています。岩倉北小学校では、平成28年度以降、毎年、研究発表を実施し、全市に取組の一端を発信されています。「これからの京都」のまちづくりに向けて、各校で「どのような教育実践が求められているのか」について、「社会科」及び「総合的な学習の時間」においての実践モデルを「取組の概要」と「指導案」の形で提示しています。実践内容は、自分たちのまち京都の「これからのまちづくり」について、子どもが主体的に考える展開としています。

是非、この機会に企画展にお越し頂き、「京都を学ぶ」についての幅広い認識をもつとともに、「歩くまち・京都」憲章及び「本憲章についての学校教育の中での取組」について、見識を広げてください。



◎お知らせ◎ 次回企画展「確かな学力の育成」（9/6～11/2）

新着図書紹介 新しく50冊配架

プログラミング教育と向き合う



小学校では令和2年よりプログラミング教育が義務化されます。先日、京都市もプログラミング教育の方針を発表しました。今後、小学校では急ピッチでプログラミング教育の準備をしていくことになります。

「初等教育資料7月号」は約50ページの紙面を割いて特集を組んでいます。題して「論理的思考力等を育むためのプログラミング教育の在り方」。

内容は大きく二つ。「小学校におけるプログラミング教育の考え方」の理論と学習指導要領に例示されている授業事例・各教科の授業における指導事例です。先進的に行った授業内容が簡潔かつイメージしやすく書かれています。一読の上、プログラミング教育と向き合いたいものです。



授業スタイルを見直しませんか？

発問することで、子どもたちの学びや学習活動が活発化・活性化し、自ら学び、自ら動く子どもに育っていくのです。これは大げさでも何でもありません。それくらい先生の発問には大きな力と可能性が秘められているのです。

- ・よい「発問」の基本的な考え方がわかる。
- ・「発問」を通して、子どもたちが自ら考え、自ら学習できるようにする。
- ・あなたの「発問」で子どもたちが発想を広げられるようにする。
- ・どのような場面で、どのように発問をすればよいか。

すぐに役立つ授業のヒントが満載です。



カリキュラム開発支援センターでは、授業や教材作成の支援やアドバイスをしています。

授業や教材作成に関する書籍、資料等お気軽にご相談ください。

夜間21:00まで開室

(木曜及び第一月曜は17:15まで)

土曜も開室(9:00~17:00)

日曜・祝日閉室 TEL 371-2341